

Avery Dennison

RFIDの世界最大手Avery Dennisonは、ユニークな現場環境を再現するためのラボを東京・港区虎ノ門に開設した。RFIDに関する最新情報を、顧客とコミュニケーションを取りながら積極的に発信している。

RFIDは、物流分野でも倉庫内作業や輸送効率

虎ノ門にラボ開設

再び注目されるRFID

RFIDの世界最大手Avery Dennisonは、ユニークな現場環境を再現するためのラボを東京・港区虎ノ門に開設した。RFIDに関する最新情報を、顧客とコミュニケーションを取りながら積極的に発信している。



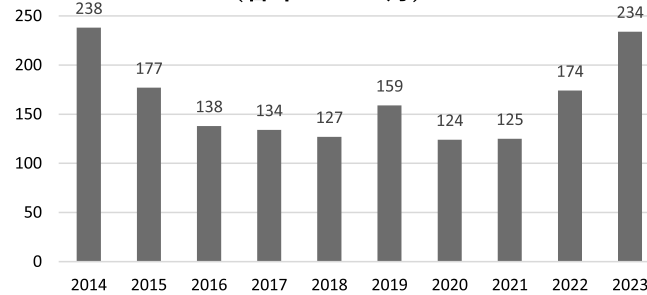
開設されたラボ

RFIDの世界最大手Avery Dennisonは、ユニークな現場環境を再現するためのラボを東京・港区虎ノ門に開設した。RFIDに関する最新情報を、顧客とコミュニケーションを取りながら積極的に発信している。

RFIDは、物流分野でも倉庫内作業や輸送効率

道路貨物運送業の倒産推移

(各年1~9月)



東京商工リサーチがまとめた道路貨物運送業の2023年1~9月の倒産件数は234件、前年同月比34.4%増と、3年連続で前年同月を上回り、ここ10年間で14年連続で高水準となった。

倒産は30件(同1.4倍増)で、2.1倍、求人難が15件(前年同期は4件)、人件費高騰が9件(同2件)といずれも急増している。

東商リサーチ

倒産件数234件

1~9月の道路貨物運送業 物価高が84%増に

以降、毎月10件以上で推移しており、運送業に大きな影響を与えている。東京商工リサーチは、政府は外国人労働者の在留資格である特定技能への自動車運送業の追加、輸送手段を鉄道やフェリーに転換するモーターシフトの目標を掲げるなど、2024年問題に

物流企業施設から2物件選定

大阪市

「生きた建築ミュージアム」

大阪市はこのほど、「生きた建築ミュージアム」大阪セレクトション」の第2期として47物件を選定。物流企業の施設では、住友倉庫大阪支店川口倉庫と中谷運輸築港ビルが選ばれた。



住友倉庫川口倉庫



中谷運輸築港ビル

「生きた建築」を通じ、大阪の新しい魅力を創造・発信する事業。

住友倉庫の川口倉庫は、1931年に当時の倉庫建築では国内初の6階建てとして建てられ、2014年まで本社が置かれていた。鉄筋コンクリート造の倉庫が堅牢というイメージを残しながら、かつて川口が貿易港として栄えた歴史を今に伝える、大切なシンボルとなっていると評価された。

中谷運輸(本社大阪)築港ビルは、1933年に大阪商船(現商船三井)が、船舶の切符売場兼船員の待合所として建てた近代建築。竣工時は3階建てだったが、台風などの水害を防ぐ戦後の復興事業によって周辺道路全体が2.5倍の高さへされた結果、建物の1階がほぼ地中に埋まっている。解体の危機をくぐり抜け、現在も1階に飲食店などが入居し、活用されているというのが選定理由。

として、明治以来、多くの貨物を輸送してきたこれまでの歴史を、錦絵や各種銘板、車両模型などの関連資料でたどっている。このほか、1928年に開業した



梅田駅最終列車のヘッドマークも展示

開設として配置している。新工場は全国7カ所目のテクノパーク統括工場。敷地面積5万5800・37平方メートル、鉄骨造2階建て・延べ床面積1万1943・84平方メートル、札幌を中心とする道央圏の物流を担う、テクノパーク初の合同工場。

梅田駅が吹田貨物ターミナル駅へ引き継がれる歴史も展示。

11月11、12の両日には「梅田駅のコンテナ輸送」コンテナの「一日」と題して、1979年頃の梅田駅の映像上映会を行う。

開発拠点・トレーニングフィールドを兼ね備えた大型の整備・物流工場を全国に展開。整備工場・研究開発の場、人材育成や災害時の機械・機材供給基地として、地域社会とのつながりや防災拠点としての役割も果たす。

1基(6400平方メートル)、移動ラック14列4段168メートル、垂直リフト15基、自家給油設備1施設(20キロ)など。

150年記念展開催中

京都鉄道博物館

京都鉄道博物館は11月26日まで、貨物鉄道輸送150年記念企画展「モノを運ぶ鉄道展」を開催中。



自動ラック倉庫

自動ラック倉庫、移動ラック14列4段168メートル、垂直リフト15基、自家給油設備1施設(20キロ)など。

中谷氏 ロジスティクス協会 会長ら講演

24~25日に全国大会

日本ロジスティクスシステム協会(JILS)は、ロジスティクス強調月間の一環として「ロジスティクス全国大会2023」を10月24(火)、25(水)の両日、東京・千代田区のベルサール九段でオンライン併用により開催する。

主なプログラムは次の通り。

10月24日▽基調講演II 企業事例と経営戦略から見たこれからのロジスティクスのあるべき姿(ロジスティクス・中谷康夫代表取締役会長)▽推進委員登壇セッションII 皆で運ぶ物流の未来(N

EX T Logisticians Japan・梅村幸生代表取締役社長)▽物流DX推進に向けた取り組み事例紹介(トラスコ中山・岡田真也物流本部物流改革部長)▽フレンドリーな環境構築に向けたDXと共創(フレームワークス・秋葉淳一会長)▽特別講演II これからの人的資本経営のあり方(一橋大学・伊藤邦雄教育研究センター長

10月25日▽ロジスティクス大賞表彰式・受賞記念講演II 歩かない物流センターの構築(エレコム・原田航物流部スーパバイザー)など▽ロボットフレンドリーな環境構築に向けたDXと共創(フレームワークス・秋葉淳一会長)▽特別講演II これからの人的資本経営のあり方(一橋大学・伊藤邦雄教育研究センター長